

# 旧大原衛生公苑の利活用に向けたサウンディング

## (対話型市場調査) 結果の概要について

旧大原衛生公苑は、国道170号線に近接している非常に交通利便性が高い場所に位置しており、本町の地方創生に有効活用できる可能性が高いため、本町にはないノウハウやアイデアを持つ民間事業者の皆さまに、利活用方策等について調査させていただくことを目的にサウンディング(対話型市場調査)を実施しましたので、その結果の概要を公表します。

### 1. 対象施設

旧大原衛生公苑(大阪府泉南郡熊取町野田4丁目2063)

### 2. サウンディング実施スケジュール・参加者

#### (1) 実施スケジュール

- ①参加申込み 令和6年8月30日(金)から9月20日(金)まで
- ②ヒアリング 令和6年10月1日(火)から10月18日(金)まで

#### (2) 参加者

- 1 事業者

### 3. サウンディング結果の概要

#### (1) 利活用のアイデア

- 建物：陸上養殖(加工場、直売所、イートインスペース併設)
- 敷地：オールインクルーシブ公園(インクルーシブ遊具、噴水、ドッグラン等設置)

#### (2) 事業スキーム

町が公共事業として建物・設備・敷地整備を行うとともに、陸上養殖等を行う事業者をプロポーザルで募集し、参加者は、当該施設の運営事業者として参画する。

### (3) 想定する改修工事等の内容

既存建物は解体・除却し、新築する。

※食品をブランドとして売り出すにあたり、旧し尿処理施設であったことによる風評被害リスク等を総合的に勘案すると、既存施設を活用することは困難。

### (4) 想定される課題

既存建物を解体・除却することで、ニーズに応じて柔軟な整備が可能となるが、多額の事業費が必要になる。財源として、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）を活用できる可能性がある。なお、参加者としても初期投資はできる限り抑えたい。

## 4. 今後の方針

今回のサウンディング（対話型市場調査）も参考に、今後どのように旧大原衛生公苑を利活用していくか、検討を進めます。